



2015年1月のロータリーレートは1ドル=118円 2015年 地区大会は10/24～10/25

LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを 2014～15 RI会長 黄其光 Gary C.K.Huang (台北 RC)
 ふるさとを育み 世界平和へ 2014～15 2610地区カバナー 永田 義邦 (高岡 RC)
 多様性と団結力を活かして楽しく活動する ~みんなちがって みんないい 会長 宮永満祐美



例会便り

第772回

ホテル日航5F

1.22(木) 19:00~20:00

例会出席率 20/37 54.05%

稲山訓央 SAA 12月の平均出席率は75.01%

点鐘

ロータリーソング『奉仕の理想』
四つのテスト



会長挨拶：皆さんこんばんは

先日、吹雪いている寒い日に事務所に置き薬の担当者がきました。いつもは外のドアの中の玄関先でチェックしてもらいますが、とても寒いので中に入れていただきました。

そして、この天気の悪い中、来てくれましたが売上はゼロでした。申し訳ないし何かドリンクでも買おうかと思っているうちに「温かいところに入れていただきましてありがとうございます」と笑顔で帰っていきました。とてもすがすがしく感じましたし、ホロッとしました。私も初心に戻ることができました。素直な気持ちでいろいろ考えたいと思います。

ゲストのご紹介：〔卓話者〕特定非営利活動法人 カラ＝西アフリカ農村自立協力会 代表理事 村上 一枝様 神山 あき子様 狩野 晴子様

今月の誕生者の紹介 2日生まれ 二木 秀樹 会員
7日生まれ 石丸 幹夫 会員 31日生まれ 谷 伊津子 会員

皆出席顕彰 4カ年 川 きみよ 会員

《 食 事 》

幹事、委員会報告等：

井口千夏幹事：幹事報告は本日特にありませんが、高崎ロータリーとの交流の文書がFAX・メールで届いているかと思しますので、なるべく早めのお返事をお願いいたします。

北山会員：お手もとに「チャリティーコンサート」のチラシをお配りしました。後援：金沢百万石RCと入れさせていただきました。東日本大震災復興支援に関わって2011年4月の第1回からかぞえて今回が第6回目のコンサートとなります。まだ気持ちの中でこだわっている部分がありまして、もう一度東北のことを思い出してコンサートに来ていただければと思います。よろしくお願いします。



川 会員：仕事柄なかなか夜の例会に参加できず本日4カ年の皆出席顕彰をいただきましたが、最初の年からメーキャップをしています。親会の北RCをはじめ西RCやみなとRCにもよく行かせていただき可愛がっていただいています。これからもメーキャップでの例会出席となるべく多くあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。



官永会長：村上様 今日はようこそおこし下さいました。お話たのしみしております。
井口幹事：村上様 本日はようこそ百万石へ 本日は宜しくお願ひします。
上杉会員：村上様 ようこそ いらっしやいませ。今日のお話楽しみです。
江守巧・道子会員：村上先生 すばらしい活動の話をお聞かせ頂きます。
炭谷会員：村上様 今夜は御苦労様です。卓話楽しみにしています。
永原会員：村上様 本日の卓話楽しみにしております。村上様の勇気に敬意を表します。



講話の時間

『 マリ共和国農村におけるNGO支援について 』

特定非営利活動法人 カラ=西アフリカ農村自立協力会 代表理事 村上 一枝 様

講師紹介：村上先生は 1965 年 日本歯科大学を卒業され、新潟で小児歯科を開業されてい
ました。その後、48歳の時に歯科医院を譲られて西アフリカのマリへ渡られてマリの住民
の為の識字教育や農業指導などの奉仕活動をなさっています。その活動に対して沢山の賞を
受賞されています。先生とのご縁は約20年前、金沢大学口腔外科の福田先生を通じて村上
先生の活動を知り、サポーターとしてカラの機関紙を拝見し、何かできることはないかと常
々考えており、一度金沢へ来ていただいて是非お話をお聞きしたいとお願ひしいたところ、
快く引き受けてくださいました。2泊3日で計4回ご講演いただく予定をしています。



紹介：江守道子会員



講話：この仕事のことを考えて毎日を過ごしております。いかにしてお金を
獲得するか、お金がなくては支援も限られてしまうため、日本各地で講演とマリの
工芸品の販売をさせていただいています。ただ2泊3日で計4回ご講演するという
のは初めてのことで。また後輩の神山あきこさんとその妹さんの狩野晴子さんにも
お越しいただいています。

思い立ったらすぐ行動というのが私の信条で、1989年に歯科医院を廃業しサハラ
砂漠へボランティアとして参加しました。最初の目的は、今日元気だった子供が明日
死んでいる、栄養も足りていない、食べ物がない、薬がない、字が書けない・読
めないという現状をなんとかしたいという思いで約1年間サハラの砂の上で寝た。
その経験が今非常に役に立っている。多少匂いがしても腐ってなければ食べること
やバケツ1杯の水で頭と身体を洗い洗濯もするというような生活で、12kg体重が減ったが病
気ひとつせずにごすことができた。最低限の中でいかに生活していくか、日本ではいかに贅
沢に無駄な生活をしてきたか反省させられる経験でした。その後、個人ボランティアとして
現地の団体に2年間参加し、全村調査で得た現状を村の人達と会議をしてプロジェクトを
始めた。女性に縫い物を教え親しくなり、その中の優秀な女性の能力を引き出してリ
ーダーをつくり、女性も巻き込んだの活動を行った。一番の苦労は水がない事。農業・林
業は雨季の水を中心とした活動。降雨量が少ないと作業ができない。作物が採れないと
収入がなくなり、一族の中から字の書ける者が出稼ぎにだされる。エイズ対策につ
いて国が若者を集めて知識を与えるが、自分の財産にしてしまっていて周囲に教えな
い。そこで村々を回ってエイズ予防キャンペーンを行うこともある。踊りと唄が好き
な人達なので、そういったイベントを開催してその中でエイズについて教えていく活
動もある。またエボラ出血熱についても予防の普及に努めている。子供の命を救
いたい気持ちで現地へ渡ったがそこまで到達しなくて、まずは食べること・つ
くること・収入を得ること・水を得ること、文字の読み書きができるようになること
から始めていったプロジェクト。25年が過ぎてやっと私の手を離れて現地の人達
で続けていけるような段階になりました。まだ手を離せないのが教育と産院
など箱モノの建設です。

マリ共和国はサハラ砂漠が国土の3分の2を占め、人々は3分の1の土地で生活をしており、
その中には世界遺産が3つあり、乾季には観光客も多く訪れる。公用語はフランス語、
通貨は西アフリカ共通のセーファーフラン。1ユーロが655.957セーファーフランの
固定制。以前には日本政府ODAがニジェール川の灌漑を行い、鉱山の発掘も行って
いたがクーデター後中止されており、2007年にできた在マリ日本大使館も閉じられ
てしまい、青年海外協力隊も1年経たないうちに日本へ帰国した。そんな中、私
たちだけがJICAからもらっていた事業を続けていた。学校がないので10歳ぐら
いから家の仕事を手伝い、肉体的な疲労が大変なもので女性の流産が多い。パ
パイアやバナナを植えて栄養を改善し、野菜を植えてお金に替えることや物々交
換を行う。森林パトロール隊を各村に5人ずつ育成し、自分達の村に生えて
いる木は自分達で守り、過剰な伐採はしない様に、また乾季の森林火災をくい止
める様に巡回をして自分達で守るようにしている。そうすることにより森林火災
がゼロになった。一つのモデルの村ができれば皆が真似してくれるので、根
気よく諭しながら守



っている状況。シアバター石鹸も女性の手によって作られて販売もしている。他には泥染めの布なども販売しており少しづつ収入を得ている。主食のトウモロコシは自家栽培しているが副食や薬代などは女性の稼ぎで賄っている。男の人は第一夫人から第四夫人までもつことができるが、子育ては第一夫人が全ての子供の面倒を見なくてはならず、第一夫人の負担はとても大きい。イスラム教の悪い面が目につくが日本とは常識が違う。子供からおばさんまで識字教室も行っている。たし算・ひき算・かけ算・わり算も勉強して商人にだまされないようにする。このようにして全ての物を与えるのではなく、基礎的なことを私共が支援して、あとは村の人達の意識で展開していくように、失敗しても遠くから見守るだけで手をださないようにしながら作り上げたプロジェクトです。是非機会がありましたら、実際をご覧になりいらしてください。その方がご理解いただきやすいと思います。宜しくご支援くださいますようお願いいたします。 (以上概略) 点 鐘

パストガバナーからの手紙 206回 「アベノミクスに明日はある」 炭谷 亮一

昨年末の本会報でアベノミクスは経済学の巨人達のいいとこ取りした政策だと記述した。事実ケインズの金融緩和、財政出動、シュンペーターのイノベーション、そしてフリードマンの規制緩和と構造改革 これらすべてを達成出来ればデフレ脱却、経済再生そして世界の最優良経済大国になることうけあいである。

ところがエコノミストと称する人達の中でアベノミクスではデフレ脱却、経済再生どころか国債暴落、ハイパーインフレとなり日本経済は破綻（デフォルト）に陥ると声高らかに主張する人達もいる。この稿では私なりに「アベノミクスに明日はあるのか」の検証を試みることにする。

昨年10月31日 日銀は更なる金融緩和を断行した。ちょうどハロウィンの時期に当たり「ハロウィン緩和」と呼ばれている。4月の消費増税はかなりGDPをおし下げており、更なる金融緩和をもう少し早くやっても良かったのではと思うが、規模は現在の需給ギャップを中期的にカバーするのにまずまずとの印象を持っている。直後に円安株高となった。しかし実は金融緩和の最大の効果は雇用の改善にあった。政権発足から2年余り安倍政権の経済運営により株価は倍以上になり、為替は70円→115円と円安になり雇用者数はこの1年間 1000万人以上増え、一部の職種では人手不足が懸念されるほど売手市場になりつつある。

以上を考慮すればアベノミクスは成功していると言えるが、多くのマスコミは余りに大胆な金融緩和は副作用（国債の暴落とハイパーインフレ）が起こると警鐘を鳴らしているが、アメリカでも日本でも副作用など出ていない。心配性もいいかげんにしてほしい。10月末に来日したノーベル経済学賞を受賞したポール・クルーグマン教授がかつて言っていたことだが、「火事の時、消火する為に水をかけたら家具が水にぬれると怒る様なものだ」と。更に金融緩和の「出口（いつやめるか）」を心配している様だ。確かに米国は量的緩和を6年もやって見事に経済を再生させつつある。日本では民主党政権下、大胆な量的緩和に踏み切れず、白川前日銀総裁に小出しに気持ち程度金融緩和をやらせた。アベノミクスは約2年前から大胆な金融緩和をはじめたばかりでありようやく中盤にさしかかろうとしている時期にもう「出口」戦略とはちと気が早すぎると言わざるをえない。果実はしっかり実らせて収穫するのが常道である。最近反アベノミクスの著書や論考などが花盛りである。曰く景気回復の兆しはアベノミクス以前からあった、金融緩和は効果をあげていない、大企業が潤うだけで勤労者に恩恵はない、遠からず大破局がくる、更には「実証に欠け無理論の上に立つもの」「アベノミクス批判・伊藤光晴著」と罵倒したり「経済予測は基本的にあたらない。外れたことより外した理由が問題」（アベノミクスの終焉・服部茂幸著）これなどは実地経済を語る資質のない学者本である。経済運営とは「うまくいって何んぼ」「もうかって何んぼ」という現実を無視したたわごとだ。

反アベノミクス論者の中で「野口悠紀雄」の日本経済は大胆に構造改革なくして再生はありえない例えば製造業に頼ってはダメだと、日本人はもっともっと頭を使い新しい分野を開拓すべきである。例えば東京を世界の金融センターにする等、そして外国の有能な人材が日本で活躍出来る様になくしては日本再生などありえないと。日本は経済構造を抜本から見直し改革する必要があると論破している。私は傾聴に値すると思っている。

さてアベノミクスの最大の課題といわれている第3の矢 つまり成長戦略であるが、まず第一に2020年の東京オリンピック招致に伴う経済の活性化は大いに期待出来る。その上昨年6月に政府は「日本再興戦略」を以下の様に閣議決定した。

- ①法人税減税（実効税率を20%台に）
- ②雇用制度改革（労働時間の見直し、女性の就労支援、外国人活用）
- ③医療制度改革（混合診療の拡大）
- ④農業改革
- ⑤公的資金見直し
- ⑥国家戦略特区（いわゆる岩盤規制の打破）

私は以上以外にも考えられる施策はすべて試みる必要があると考えている。なぜなら何がヒットし日本経済の再生につながるか不確定な現状では、なりふりかまわず試みる必要がある。今、今日、この時が日本経済再生のチャンスだ。もう一步前進すれば国民の間に好感感が広がりお金をもっと使おうという気持ちになり、景気の好循環に入ることが出来る。

最後に私がこんなことを言うのは、本当におこがましいが安倍首相は直近の元首相たちと違ってある程度実地経済学を理解している、これは我々国民にとって大変幸せなことである。そして「アベノミクス」に明るい未来はある、失敗を恐れず考えられるすべての施策を実行すべきである。

本稿の執筆は2014年11月10日であり2015年1月29日の例会日には私の主張など陳腐なものとなり、国内に好感感が広がっていることを期待している。

アンディー君からの手紙 炭谷 亮一

約20年前金沢北クラブの交換留学生として当時16才のアンディー・ロバキ君からメールが来ました。当時アンディーは江守会員そして私の家等で一年間ホームステイし金沢桜ヶ丘高校に通学し、柔道と少林寺拳法の初段をとりアメリカに黒帯を持って帰国しました。非常に自己主張の強い交換留学生でかなり手こずった記憶があります。



帰国後メリーランド州にある海軍士官学校に入学、卒業そして軍務についていました。ちょうど私が4年前の1月に国際協議会出席の為サンディエゴに1週間滞在した際に彼と彼の新婚の奥さんと会食しました。その時アンディーは今、ロースクールに通っていて、弁護士の資格をとる為に頑張っているとのことでした。昨年見事にフロリダ州の弁護士試験にパスし、軍を退役し現在はフロリダで一番大きな弁護士事務所に勤務し、昨年長女が誕生し、三人で幸せな家庭生活を送っているとのことでした。幸せそうな三人の写真を見て、息子よ良く頑張った、家族の為にしっかり仕事して三人で仲良く楽しい人

生を送ってほしいと願わずにはいられなかった。” good luck”

アンディー君からのメール (原文どおり)

パパ、私は、家族としていことを願っています。私はフロリダ(以上概略)州マイアミでの生活は、特許弁護士。Rosieと私は赤ん坊の一年前たっています。彼女の名ベラで、彼女は私達の生命の愛である。彼女はキュートなスーパーで、ピエール・ロビン・シンドロームに生まれ、それを修理するために2手術でした。私はフロリダ州でトップトライアル弁護士と株式会社と作業、医師、および、新しい発明を発明者支援のいずれかと提携しています。私は日本語クライアントはまだしていないが、一部を取得したい。

クラブ例会予定 2014-2015年度

- 1/29 金沢 RC 会長 (株)能作 代表取締役社長 岡 能久 様
- 2/5 北陸大学教授 長谷川 孝徳様
- /12 振替休会
- /19 岸アトライブ研究所 所長 岸 弘市様
- /26 クラブフォーラム

2014～15 役員・理事・委員会

(役員) 会長：宮永満祐美 副会長：魏賢任 幹事：井口千夏 副幹事：大路孝之

会計：上杉輝子 SAA：宍戸紀文 直前会長 野城 勲

(理事) 理事：二木秀樹 北山吉明 金沂秀 藤間勘菊 西村邦雄 武藤清秀

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事岩倉舟伊智 監査：後出博敏

(委員会) クラブ管理運営委員長：二木秀樹 副：東海林也令子 親睦：○武藤清秀 辰己クミ 水野陽子

金沂秀 川きみよ 上杉輝子 吉田昭生 杵屋喜三以満 魏賢任 大路孝之 高田重男

例会：(プログラム) ○東海林也令子 宍戸紀文 川きみよ 吉田昭生 (出席) 野城 勲 藤間勘菊

SAA：○宍戸紀文 稲山訓央 ニコニコ：○稲山訓央 若狭豊 友好・クラブ細則：細則 CLP検討 江守巧

富山西 RC との交流岩倉舟伊智 木場紀子 金沢北 RC との合同例会二木秀樹 杵屋喜三以満 高崎 RC との交流村田祐一

金沂秀 藤間勘菊 直前委員長：西村邦雄

奉仕プロジェクト委員長：北山吉明 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 二木秀樹 大路孝之 稲山訓央

村田祐一 谷伊津子 社会：○村田祐一 谷伊津子 北山吉明 新世代・青少年○北山吉明

国際：○西村邦雄 世界社会奉仕 (R財団) 西村邦雄 ラオス支援 魏賢任 藤間勘菊 描き損じハガキ 江守道子

米山奨学会 木場紀子 奨学生の世話大路孝之 (カウンセラー) 野城 勲 青少年奉仕 国際青少年交換上杉輝子

ローターアクト研究会稲山訓央 上杉輝子 直前委員長：木場紀子

会員組織委員長：金沂秀 副：江守巧 会員増強：○金沂秀 岩倉舟伊智 武藤清秀 宍戸紀文

川きみよ 稲山訓央 大路孝之 修練 前期石丸幹夫 藤間勘菊 後期木場紀子 江守巧

広報委員会委員長：藤間勘菊 副：石丸幹夫 広報：藤間勘菊 吉田昭生 ローター情報：炭谷亮一 石丸幹夫

会報・ホームページ：石丸幹夫 宍戸紀文 直前委員長 村田祐一

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) 諮問委員会委員 地区ガバナー氏名委員会委員、クラブ奉仕部門Bカウンセラー 炭谷亮一

社会奉仕委員会委員長 ローターとふるさとを考える委員会委員 谷伊津子

地区監査委員会委員長 後出博敏 R米山奨学会委員会副委員長 藤間勘菊

友情交換委員会委員 宮永満祐美

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00

休日 (土日祝日) 事務局員 西村有里 幹事 井口千夏